

# 医療法人社団倫生会 みどり病院

<http://www.midori-hp.or.jp>



- 病床数108床
- 平均在院日数14.8日、10:1看護体制
- 神戸市第2次救急指定病院、在宅療養支援病院（強化型）
- 病院機能評価認定（Ver5.0）取得
- みどり訪問看護ステーション
  - 常勤看護師3名、非常勤看護師5名
  - ケアマネジャー4名、理学療法士1名
- 緩和ケアチーム
  - 医師、訪問看護師、病棟担当看護師、院内薬剤師、院外薬剤師
  - 地域連携室スタッフ、理学療法士、ケアマネジャー

# 地域人口

	当院往診圏	神戸市西区	神戸市
総人口	<b>74,873人</b>	<b>249,666人</b>	1,542,230人
世帯数		<b>95,622世帯</b>	686,961世帯
面積	<b>半径3km以内</b>	<b>138.02km<sup>2</sup></b>	552.83km <sup>2</sup>

- 在宅医療連携拠点事業では人口7-8万人の地域における在宅医療連携システムの構築を想定しているが、当院の往診圏（人口約7.5万人）においては自院のみで在宅医療の提供がほぼ可能である。
- そのため、当拠点では神戸市西区及び近隣市区町村における在宅医療連携の推進を活動の目的として、拠点事業の展開を行った。

# 普及啓発・人材育成活動 研修会/講演会（実施終了分）

開催日	活動内容	市民 (名)	医療介護 従事者
2012.6.2	有料老人ホーム 講演会	47	
2012.7.21	神戸西医療・介護 地域ケアネット ワークの会 市民フォーラム	199	145
2012.8.23	神戸大学医学部 附属病院 第2回在宅医との 懇話会		48
2012.9.8	老人保健施設 講演会		46
2012.9.19	老人保健施設 講演会		64
2012.9.20	エナガの会 症例検討会		50
2012.9.25	第2回西区医療・ 介護連携 交流会		50

開催日	活動内容	市民 (名)	医療介護 従事者
2012.10.23	和坂老人会 講演会	18	
2012.10.25	西区介護保険地 域連携 講演会		48
2012.11.24	第4回神戸在宅ホ スピスネットワー ク市民フォーラム	141	125
2012.12.20	神戸西在宅ケア ネットワーク 事例検討会		50
2012.2.16	神戸西医療・介護 地域ケアネット ワークの会 市民フォーラム	279	115
2012.2.28	篠山市歯科医師 会講演会		48
<b>全13回の合計参加者数</b>		<b>684</b>	<b>789</b>

# 神戸大学医学部附属病院との連携 ～第2回 在宅医との懇話会～

## ■ 開催の目的

- 神戸大学病院緩和ケアチーム及び大学病院医師と地域の在宅医で合同カンファレンスを行うことで、大学病院医師と在宅医との間で在宅医療に関する共通認識を構築する。



**第2回 在宅医との懇話会**

日時：平成24年 8月23日（木）18：45～20：30  
場所：神戸大学医学部附属病院  
病棟2階 共通カンファレンスルーム

共催：神戸大学医学部附属病院緩和ケアセンター、緩和ケアチーム、神戸市在宅ケアネットワーク、医師会（神戸市）在宅ケア推進委員会、神戸市在宅ケアネットワーク、神戸大学がんプロジェクト推進協議会、地域がん診療連携拠点病院強化事業、平成24年在宅医療推進計画事業

18:45 緩和ケアに関する最新の情報提供  
19:00 挨拶 秋田 徳康先生（神戸大学医学部附属病院 緩和ケアセンター長）

**第1部 病院から在宅医への連携の実績** 司会：西村 善博先生（緩和ケアチーム長）

- ①治療法の最新の情報  
（神経障害性疼痛、薬性中毒1例を例に）
- ②在宅医への連携に関する具体的な方法 など

③在宅医療の課題  
-病院から在宅医へ引き継ぐ方法 など

**第2部 懇話会** 司会：長尾 和宣院長（尼崎市・長尾クリニック）

懇話会とは、今年度からスタートし、今秋から開始したい事など連携することで患者や家族が「苦しくない」ために、医師会との懇話会を主催しました。今後、在宅医と良い連携をするための意見交換を予定しています。近頃から多くの在宅医の先生方が参加されます。是非ご参加下さい！

参加申込書 FAX\_078-382-5267 患者支援センター宛  
郵送の都合上、8月10日までに行方でお申し込み、この用紙をご返送下さい。

施設名  
氏名  
当日1時から出席費を予定しています。（参加する・参加しない）



# 大学病院医師から在宅医への質問 (事前アンケートより集計)

## 在宅医療の 実際

- ①深夜の看取りはどう対応しているのですか？
- ②在宅看取りまでの環境整備はどのようにされているのですか？
- ③在宅ではどのような医療処置が可能ですか？

## 連携の タイミング

- ④いつのタイミングで紹介するのがいいですか？  
(緩和ケア移行前・緩和ケア移行時・終末期前)

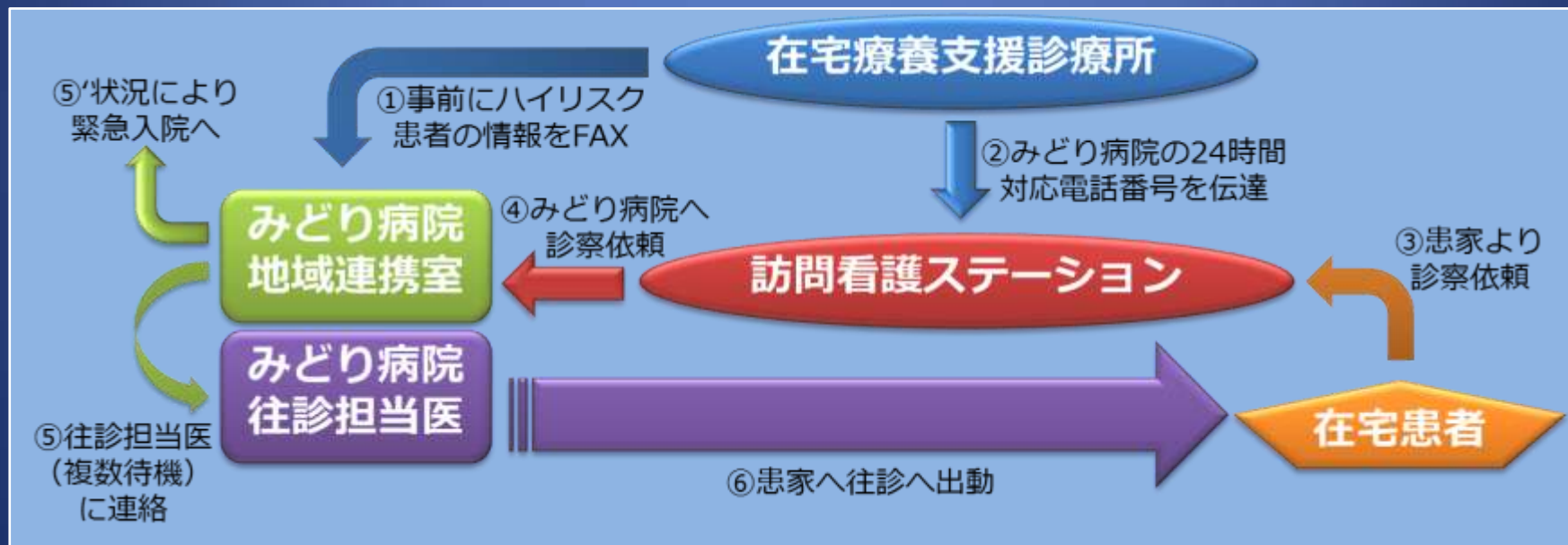
## 連携の仕方

- ⑤事前連絡方法はどのような手段がいいですか？
- ⑥病院で対応すべきことと在宅医の裁量に任せただ方がよい部分がありますか？
- ⑦緊急時対応の役割分担はどうしたらいいですか？

- それぞれの項目に対して在宅医から回答を行い、議論を深めることができた。
- 参加後アンケートでは89%の参加者が「今後の在宅医療連携に生かせる」と回答した。

# 在宅療養支援診療所 24時間代診サポートシステム

- 近隣の8診療所と書面で連携し、緊急入院・検査入院・レスパイト入院等に対応
- 長期休暇期間（GW、夏期休暇、年末年始休暇等）の24時間代診対応システム



## ■ 実際の運用状況

- 平成24年度 5/3-6、8/11-15、12/30-1/5（計16日間）でパイロット運用を行った
- 在宅看取り1件、病状報告対応1件

# 神戸市西区医師会アンケート調査結果 (90/170件 回収率52.9%)

	対応可/有	対応不可/無	未回答
訪問診療	45(50.0%)	45(50.0%)	
臨時往診	54(60.0%)	35(38.9%)	1(1.1%)
在宅療養支援診療所届出	27(30.0%)	62(68.9%)	1(1.1%)
麻薬処方	34(37.8%)	55(61.1%)	1(1.1%)
在宅看取り	39(43.3%)	51(56.7%)	
ケアマネから医師への連絡方法			
直接面談	43(47.8%)		
訪問診療同席	29(32.2%)		
外来同席	37(41.1%)		
電話連絡	46(51.1%)		
FAX連絡	50(55.6%)		
メール連絡	16(17.8%)		
その他	3(3.3%)		

訪問診療をしている診療所のほとんどが麻薬処方や在宅看取りに対応している。

# 神戸市西区歯科医師会アンケート調査結果 (33/90件 回収率36.7%)

	対応可	対応不可	未回答/その他
訪問歯科診療	14(42.4%)	17(51.5%)	2(6.1%)
認知症患者の診療	10(30.3%)	17(51.5%)	6(18.2%)
ケアマネから歯科医師 への連絡方法			
直接面談	19(57.6%)		
訪問診療同席	16(48.5%)		
外来同席	18(54.5%)		
電話連絡	21(63.6%)		
FAX連絡	21(63.6%)		
メール連絡	7(21.2%)		
その他	1(3.0%)		
担当者会議への参加	5(15.2%)	18(54.5%)	10(30.3%)

約4割の歯科診療所が  
訪問歯科診療を行って  
おり、約3割が認知症  
患者の診療に対応して  
いる。



# 神戸市西区薬剤師会アンケート調査結果 (40/56件 回収率71.4%)

	対応可/有	対応不可/無	不明
在宅患者訪問薬剤管理指導届出	34(85.0%)	6(15.0%)	0(0.0%)
居宅療養管理指導指定	34(85.0%)	6(15.0%)	0(0.0%)
麻薬小売業許可	31(77.5%)	9(22.5%)	0(0.0%)
訪問指導	30(75.0%)	10(25.0%)	0(0.0%)
訪問指導実施実績の有無	13(32.5%) (平均43.4件)	25(62.5%)	2(5.0%)
退院前カンファレンス参加	25(62.5%)	14(35.0%)	1(2.5%)
訪問指導経験のある薬剤師の有無	20(50.0%) (平均2.45人)	18(45.0%)	2(5.0%)
麻薬譲渡グループへの参加	12(30.0%)	28(70.0%)	0(0.0%)
注射薬の調整(混注)	0(0.0%)	40(100%)	0(0.0%)
輸液・経管栄養剤の対応	27(67.5%)	13(32.5%)	0(0.0%)
輸液ルートカテーテルの供給	22(55.0%)	18(45.0%)	0(0.0%)

この地域では  
クリーンベン  
チの導入が進  
んでいない。  
その理由は、  
①コスト  
②業務負担

# 兵庫県内の在宅療養支援病院の 地域における役割について

## ■ 背景

### ■ 在宅療養支援病院の要件

- ① 許可病床数が200床未満
- ② 在宅医療を担当する常勤の医師が3名以上
- ③ 24時間365日体制で往診や訪問看護を提供

■ 我が国の国民のほとんどは在宅療養支援病院をはじめとする一般病院で看取られている。

## ■ 目的・方法

■ 兵庫県内における在宅療養支援病院の実際の在宅医療提供体制・緩和ケア提供体制についてアンケート調査を行った。

# 兵庫県在宅療養支援病院アンケート調査結果 (一部抜粋) (31/44病院 回収率70.5%)

	対応可/有	
訪問診療 在宅	28(90.3%)	
施設	17(54.8%)	
臨時往診 在宅	21(67.7%)	
施設	16(51.6%)	
在宅看取り対応	27(87.1%) (平均6.7人/年)	
緩和ケアチーム	7(22.6%)	
緩和ケア診療加算	3(9.7%)	
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会(PEACE)修了者	16(51.6%)	15(48.4%)

地域の看取りの場として重要な役割を担っていると思われる在宅療養支援病院において、緩和ケアチームがある病院は約2割、PEACE研修会を修了した医師が勤務している病院は約5割、しかない。

# まとめ

1. 研修会/講演会については、大学病院医師と在宅医との顔の見える連携を通して、在宅医療に対する共通認識を構築することができた。
2. 在宅療養支援診療所24時間代診サポートシステムのパイロット運用をすることができた。今後、本格的な運用方法を検討していく予定である。
3. 在宅医療地域資源マップの作成へ向けて神戸市西区三師会と協働してアンケート調査を行うことで、地域の在宅医療リソースの過不足を把握することができた。本年度中にマップの発行（1000部印刷予定）を行う予定である。
4. 今後、在宅療養支援病院が地域から求められている役割を再検討・再評価する必要があるかもしれない。